

六月定例市議会

災害復旧費など補正

監査委員に野口幸茂氏

六月定例市議会は、六月十五日から二十一日までの六日間の日程で行なわれました。

六月は比較的に議案が少なく、決められた主なものは、一般会計に災害復旧のための経費三千九百万円を追加、予算総額三十六億七千三百万円にしたほか、監査委員に野口幸茂氏（西山）を再任して閉会しました。

一般会計に災害復旧費など三千九百万円を追加

こんどの議会で決められた予算や条例などの主なものは、次のとおりです。

一般会計に災害復旧費など三千九百万円を追加し、予算総額三十六億七千三百六十一万円としました。

歳入は、国・県補助金二千四百万円、地方債一千四百六十万円など特定財源三千五百八十五万五千円、市税など一般財源三百四十七万七千円、歳入の主なものは、松くい虫を防除するため二十五万五千円、身体障害者の更正医療のため百五十万五千円、

精神薄弱者の医療扶助のため二十万六千円、里保育所の用地購入のため六百三十一万五千円、児童館の備品購入のため七十万五千円、失業対策事業就労者の貸付金として百二十二万八千八百円、八区の市営住宅補装工事のため五十万五千円。

災害復旧事業としては、市道八幡田線など四カ所の道路、橋りょう復旧のため一千二百六十六万四千円、中内谷川など十五カ所の河川復旧のため一千七百七十三万四千円が予算化されました。

水道 長岡拡張工事など

長岡（西山・陣山・三畠）の拡張工事（西田・陣山・三畠）の拡張

張工事二千二百六十七万四千円など三千九百六十五万四千円を追加し、予算総額二億九千四百四十四万四千円としました。

建設改良事業の補正では、三千四百九十五万四千円を追加して、南部広域新設工事七十四万四千円、長岡拡張工事二千二百六十七万四千円、前浜給水工事五百五十万五千円、同増設拡張工事六百五十万五千円を行ないます。収入は企業債一千八百三十万五千円、国県支出金一千三百六十七万四千円です。

電気ガス税を引下げ

税率を百分の七から百分の六に引下げました。

十月一日からあとに使用される電気とガスに対する電気ガス税にあってはめられます。同日より前の分については、今までどおりです。

前浜公民館が完成

前浜地区の公民館が、市農協前浜支所の隣りに完成しました。

公民館、社会教育事業を行うために使われます。が、公民館の運営方針などに違反しないものを使用するときは、使用料を払って使用することができま。

使用料は、三、四時間でホール五百円から七百円、和室三百円から四百円、調理室二百円から三百

市民ぐるみで清掃

市は「環境週間」中に市内の公害総点検を行なうことにし、六月六日、稲生地区の石灰工場を調査しました。

同地区では九業者が、公害防止へ設備改善をはかるため、来年三月をメドに協業化に踏みきる計画があり、そこで新工場完成まで、さらに行政の目できびしく監視するため立入調査したものです。

公害環境課の谷田課長補佐ら係員とともに徳橋助役も視察しました。新しい防じん装置について案内の工場関係者に説明を



大塚PTAの廃品回収

求め、今後の対策について話し合うなど、公害追放へ熱のこもった姿勢をみせていました。

十日の日曜日は、県下一斉清掃の日。

県民総ぐるみで郷土を美しくしようとして大掃除作戦を展開しました。市でも早朝から各地区ごとに不法投棄物や河川の清掃にとりくみ大きな成果をあげました。なかでも大塚PTAは、親子総出で廃品回収。午前中だけでトラックに山盛り四台分が集まり、約十方円の収入。「一石二鳥」の清掃の日とあってはくはく顔でした。

葉タバコ乾燥場でき

国の特産物生産団地育成補助事業の指定を受け、二月から建設中の葉タバコ乾燥施設が長岡農協に完成しました。建設費用、二千六百万円、乾燥機20基をそなえ一回の収容能力、三万箱、職員二名が二十四時間勤務します。

葉タバコの乾燥は個人でやると設備投資がかさみ経済的にかんがりの負担になります。乾燥場が完成して、運搬にも農協の車が使われ農家の人たちに喜ばれています。

この施設には大きな設備投資がなされたため、利用料（償却費）がかさみます。農協ではこの施設を穂の乾燥とかゴミの乾燥など、

門となつています。

野口監査委員を再任

知識経験者から選ばれていた野口幸茂氏（西山・明治四十年四月十三日生れ）を監査委員に再任しました。

鉄道北側線など市道に

次の路線が市道になりました。

鉄道北側線（小籠・弘行）五一

現在、市には約三千人の青年がいます。

それぞれならなかのちかちかで青春を過していることと思います。

このころ、社会、マスコミなどで青年の生き方、考え方などについて論議がなされています。親と子の断絶、社会的な責任感の薄れ青年らしい行動の欠如など、あげればきりはありません。

このような青年がい

青年団だより

青年の声を行政に

このころ、社会、マスコミなどで青年の生き方、考え方などについて論議がなされています。親と子の断絶、社会的な責任感の薄れ青年らしい行動の欠如など、あげればきりはありません。

このような青年がい

時期を無駄に過している青年のなんと多いことでしょうか。

市にも社会教育のための施設や設備はありますが、決して満足できるものはありません。実際の問題として、青年教育に対する現在の施設は、すでに老朽化し、飽和状態となり、将来の活動に不安

三、四区線（野中三角から西山田）二四〇〇、六区線（藤原西高貝から野中水門）四〇〇〇、七区線（野中唐戸から小籠弘行）一八二〇、片山等松線（片山根理の木から田村一本松）一、九三二〇。

南部集会所方前浜に

同和地区住民の組織的な教育活動をするための集会所が前浜にできました。

これは、中央第一（小籠）中央

タインを試みる青年もいます。

でも、このような青年たちが将来のこと、また、青春の悩みなどを友と語り、生きがいを探求する場がなく、結局、毎日を送り、人生の大切な土台つくりの

危険物の水圧検査料

林野への火入れ許可手数料のほか、指定数量未満の危険物を貯蔵するタンクの水圧検査などに手数料がかかることになりました。

水張り検査千円、水圧検査（容量六〇〇リ以下のタンク）千円（六〇〇リをこえるタンク）二千円。

を感せずにはいられません。

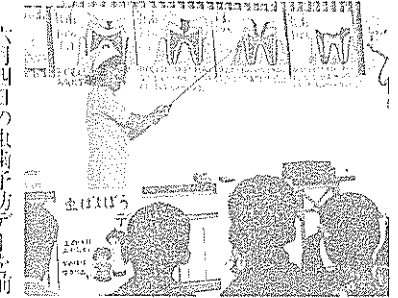
かが国の社会教育は、学校教育に比べて五十年遅れているといわれます。

今日のように社会が高度に発展し、人間が学ぶべきことが複雑多岐にわたって高度化し、拡大していく現代にあつて、それを充実させる社会教育の充実、徹底が急務の問題であろうと思

明日の南門市を背負って立つ青年たちが、自由のびのびと自主的な学習ができ、スポーツに興じられる充実した体育、文化の総合的な施設、設備が早急に設置されることを強く要望するものです。

多目的に使って、利用料を安くする計画をたてています。

虫歯予防の指導

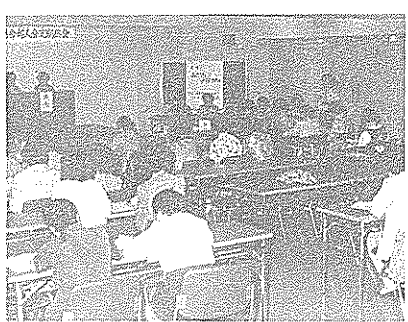


六月四日の虫歯予防デーを前に、一日、岡豊小学校で、第一回南門市口腔衛生大会が開かれました。これは市、市教委、市歯科医師会それに高知学園短大が協力して開かれたもの。

「フッ素塗布の目的と効果」について同短大の森本泰自教授の講演のあと、同研究班の学生が岡豊小の三年生を対象に虫歯予防の衛生指導やフッ素塗布を実施。また午後は県の歯科巡回診療車で黒滝小学校の虫歯治療も行なわれました。

浜田婦人会長を再選

市連合婦人会は五月二十四日、四十八年度の定期総会を開き、



会長に浜田弥芳さん（前浜）を再選し、事業計画を決めました。

ことは、交通事故から家族を守ろうと、をスローガンに、交通事故絶滅の大志願を立て、各地区で具体化して取りくみます。また、物価高や食品公害に対処するための生活学校と、教養講座としての古典のついでを毎月一回開くことにしました。

そのほか、市政会議（二月）市議会の傍聴（九月、十二月）婦人研修会（九月）老人ホーム清風園奉仕（地区別に毎月一回）などを計画しています。

婦人会では、みなさんのご協力とご参加を願っています。

役員は次のとおりです。

会長 浜田弥芳（前浜） 副会長 西森律（後免） 島内瑞枝（日章） 監事 川村吉子（奈路） 溝渕佳代子（大塚） 岡林政衛（長岡）